

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6			十分な広さを確保している。学習や安静にする場所、おやつを食べる場所等スペースをうまく活用している。
	2	職員の配置数は適切であるか	6			基準人員以上の配置を行っている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	1	1	トイレ内の手すりや段差がほとんどない設備。支援室とトイレとの段差を今後はなくして行きたい。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6			終業時に一日の振り返りを行い翌日に改善目標を立て朝礼で全体に周知して取り組むことが出来ている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6			定期的実施し、保護者の意見を取り入れながら業務改善を行っている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6			ホームページ上で公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			6	現在第三者評価は行っていない。必要があれば行っていく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6			定期的に内部研修を実施している。外部研修も必要に応じて参加している。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			適切に子どものや保護者のニーズを把握し個別支援計画を作成している。個別支援計画は職員、保護者と共有している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6			法人内で標準化されたアセスメントツールを使用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6			活動プログラム立案者を中心に、職員全員が参画し計画を行っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6			季節の活動や月の活動など、ニーズに合わせて活動内容を変更し工夫している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6			目的や課題を決めてそれぞれが達成できるように熟慮して支援を行っている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			それぞれの特性に合わせて、個別活動と集団活動を組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6			朝礼を行い日々の支援内容の確認を行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	1	1	当日担当職員が、朝礼で確認した支援内容について、報告し考察を行っている。また必要な事項については職員と共有している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	3			日報と個々の行動観察記録を作成し、今後の支援計画に生かせるように記録を取っている。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6			定期的に(6カ月毎)にモニタリングを行い、個々の状況や必要に応じて適宜見直しを行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	6			ソーシャルスキルや運動、学習など屋内外の活動を組み合わせさせて支援を行っている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6			児童発達支援管理責任者が参画している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	6			学校または保護者と学校での情報を共有し、適宜対応を行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			6	現在医療的ケアの必要な子どもの受け入れを行っていない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	1	1	相談支援専門員を通じて、保育園や幼稚園での情報を共有している。また必要に応じて直接関係機関と連携を行っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	1	5		移行後の事業所から直接問い合わせはないが、相談支援専門員を通じて情報の提供を行っている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	3		コロナ禍で座学での研修は参加しなかったが、ZOOMなどのリモート研修等には参加。困難事例等には相談を行う。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		4	2	公園で遊んだり地域のイベントに参加する際に交流する機会があるが、直接合同活動を行ったことはない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	6			管理者が定期定期に参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6			保護者のお迎え時にその日の様子を伝え、ステップアップや課題点などについて共通理解を図っている。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	5	1		ペアレントプログラム講師有資格者が直接支援を行っている。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6			利用契約時に管理者が行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6			保護者からの相談があった際には、児発管に報告し適切な助言が出来る等に行っている。また支援計画への反映も検討している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			6	現在保護者会はない。保護者から必要と声が上げれば検討していきたい。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6			苦情解決体制については、利用契約時に保護者に説明し、実施にあった苦情には迅速に対応し法人内で共有している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6			毎月月の行事や活動、イベント等の予定を保護者に配布している。
	35	個人情報に十分注意しているか	6			鍵付きの書庫で保管し、不要になった情報等は削除、シュレッダーで処分している。また、職員にも、利用者の情報を施設外に出さないように指導している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6			個々にあったコミュニケーション方法で意思疎通が図れるように配慮している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			6	コロナ禍のため現在は行っていない。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6			各マニュアルを策定し職員に周知している。保護者には利用契約時に説明している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4	2		2カ月に1回程度、口頭での訓練やSSTを活用した訓練を行っているが、実際に行動での避難訓練はしばらく出来ていない。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6			法人内で定期的に研修を行い、外部研修にも参加し虐待防止責任者の設置をしている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6			身体拘束は行っていない。身体拘束の三原則、切迫性、非代替性、一時性を職員に共有し、身体拘束が必要な際は事前に保護者に説明し同意を得てから行うようにしている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	2		医師からの指示所はないが、保護者からの情報提供で個々に対応をしている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6			各事業所で作成し、法人内で共有している。

児童デイSES藤枝みどり校